

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	地理歴史 ・世界史B(文型)	学年	2年	教科書	東京書籍「新選世界史B」
		単位数	4単位	副教材	帝国書院「明解世界史図説エスカリエ」

学習目標 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史と関連付けながら理解させ、歴史の発展法則と現代世界の特徴を広い視野から論理的に考察することによって、国家及び社会の形成者、また国際社会を主体的に生きる地球市民たり得る、社会的思考力と健全な批判力を育む。

学習方法 ○教科書と資料集を用いて学習を進めます。
○要点は板書しますので板書事項はノートにまとめましょう。ノートは定期的に提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	歴史的事象に関心をもつとともに、過去の出来事がいかに現在の出来事と関連しているか追究する。	
b	思考・判断	歴史的事象を因果関係から論理的に考察し、現代の諸課題を過去との関係においてとらえ、的確に判断する力を身に付けている。		
c	資料活用の技能・表現	出来事の分析において、資料を活用しながら事象を歴史的かつ多角的な視点からとらえる技能を身に付けている。		
d	知識・理解	歴史的事象を的確にとらえるための知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	原始・古代・中世・近世	諸地域世界の形成と交流・再編・結合	文明のはじまり	○	○	○	○	a. 諸地域世界に対する関心を持ち、各世界の形成過程について論理的に把握している。 b. 諸地域世界の歴史について多面的・多角的に考察し、各世界の特質を公正に判断している。 c. 諸地域世界に関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 諸地域世界の形成過程を理解し、その知識を身につけている。	・ワークシート ・観察 ・確認テスト ・定期試験
			西アジア・地中海文明の形成	○	○	○	○		
			南アジア・東アジア文明の形成	○	○	○	○		
			イスラム世界とヨーロッパ世界の形成	○	○	○	○		
			大航海時代	○	○	○	○		
			ルネサンスと宗教改革	○	○	○	○		
2	近代	ヨーロッパの近代社会への移行・ヨーロッパ諸国のアジア進出	市民革命と国民国家の形成	○	○	○	○	a. ヨーロッパの拡大と近代への移行を理解し、その意義を把握している。 b. 近代ヨーロッパについて多面的・多角的に考察し、諸地域世界間の交流の活発化を公正に判断している。 c. 近代ヨーロッパに関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 近代ヨーロッパの交流と再編を理解し、その知識を身につけている。	・ワークシート ・観察 ・確認テスト ・定期試験
			世界市場の形成とアジア諸国	○	○	○	○		
3	近代から現代へ	帝国主義と民族運動・社会主義革命	帝国主義と世界再分割	○	○	○	○	a. 一体化する世界とそれへの抵抗を理解し、その知識を把握している。 b. 一体化する世界について多面的・多角的に考察し、諸地域世界間の支配と抵抗を公正に判断している。 c. 一体化する世界に関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 一体化する世界を理解し、その知識を身につけている。	・ワークシート ・観察 ・確認テスト ・定期試験
			アジア・アフリカの民族主義	○	○	○	○		
			第一次世界大戦とロシア革命	○	○	○	○		
			第二次世界大戦と戦後世界の形成	○	○	○	○		

2015年度 年間授業計画

教科・科目	社会 ・世界史B(理型)	学年	2年	教科書	東京書籍「新選世界史B」
		単位数	4単位	副教材	帝国書院「明解世界史図説エスカリエ」

学習目標 世界の歴史の大きな枠組みと流れを踏まえ、ヨーロッパとアジアの近現代を中心に、日本の歴史や現代の諸課題と関連付けながら**理解**し、歴史の発展**法則**と現代世界の特質を広い視野から**論理的**に考察することによって、**地球市民**として思考し、**国家及び社会の形成者**足り得る、社会的思考力と健全な批判力を育む。

学習方法 ○教科書と資料集、授業プリント(内容、資料、自習論述問題)を用いて学習を進めます。
○授業プリントを自分手作りの参考書に仕上げましょう。自習論述問題解答の上、提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	イヨクカンシン	歴史的な事象に関心を持ち過去がいかに関与しているか追究し読解と表現に取り組む。	
	b	シコウハンダン	社会経済的事象を因果関係から論理的に考察し、現代の諸課題を過去との関係においてとらえ、的確に判断する力を身に付けている。	
	c	シリョウカツウヒョウゲン	史料や地図などの資料を活用しながら事象を歴史的かつ多角的な視点からとらえる技能を身に付けている。	
	d	チシキリカイ	歴史的な事象を的確にとらえるための知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	主要文化圏の原 始・古代・中世・ 近世の概略と ヨーロッパ近世	諸地域世界の形 成と交流・再編・ 結合	地球と人類の発生 西アジア・地中海文 南アジア・東アジア イスラム世界と中世 ヨーロッパの大航海 宗教改革と主権国 家の成立	○	○	○	○	a. 諸地域世界に対する関心を持ち、今日の課題 歴史的要因を把握している。 b. 諸地域世界の社会経済について論理的に考察 し、各世界の特質を科学的に判断している。 c. 諸地域世界に関する資料を活用して、多面的に 追究し考察している。 d. 諸地域世界の形成過程を理解し、その各世界の 文明の特質を理解している。	・自習論述 問題 ・定期試験
2	ヨーロッパとアジ アの近代	ヨーロッパの近代 社会への移行 ヨーロッパ諸国に よるアジアの植民 地従属国化	市民革命と国民国 世界市場の形成と アジア諸国	○	○	○	○	a. ヨーロッパの拡大と近代への移行のが歴史に与 えたものを理解し、その意義を把握している。 b. 近代ヨーロッパとアジアの社会経済的変動につ いて論理的に考察し、ヨーロッパによるアジア植民 地支配の今日的影響を公正に判断している。 c. 近代ヨーロッパやアジアに関する史料・地図など 資料を活用して、多面的に追究し把握しまとめてい る。 d. 近代ヨーロッパとアジアの交流と再編を理解し、 その知識を身につけている。	・自習論述 問題 ・定期試験
3	近代から現代へ	帝国主義と民族 運動・社会主義 革命・国際ファシ ズム	帝国主義と世 界再分割 アジア・アフリ カの民族主義 第一次世界大戦と 第二次世界大戦と	○	○	○	○	a. 帝国主義的世界一体化とそれへの抵抗を理解 し、その意義を理解している。 b. 一体化する世界を社会経済的に考察し、諸地域 世界間の支配と抵抗を公正に判断している。 c. 一体化する世界に関する史料・地図など資料を 活用して、追究し考察している。	・小論文課 題 ・自習論述 問題 ・定期試験

平成27 (2015) 年度 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史A	学年	3年	教科書	第一学習社「高等学校 日本史A 人・くらし・未来」
		単位数	2単位	副教材	浜島書店「新詳日本史」

学習目標 日本近代史の展開について、資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察することによって、歴史的思考力を培う。さらに現代社会が抱えている諸課題に注目し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目指す。

学習方法 ○教科書と資料集を用いて学習を進める。
○板書とプリント作業を並行して行う。ノートは定期的に提出。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	わが国の近代史の歴史について、地理的条件や国際環境と関連づけて理解しようとする。
b	思考・判断	わが国の近代史の歴史について、地理的条件や国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し、その特質を公正に判断している。
c	資料活用	わがくに近代史の歴史について、地理的条件や国際環境と関連づけて、史・資料を活用して考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。
d	知識・理解	わが国の近代史の歴史について、地理的条件や国際環境と関連づけて理解し、その知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	近代・現代	日本のあゆみ	原始・古代・中	○	○	○	○	a:原始から近世に関心を持ち、東アジアの中での日本の成り立ちについて関心を持ち、理解しようとしている。 b:原始から近世の日本について多面的・多角的に考察し、その特質について公正に判断している。 c:原始から近世の日本について史・資料を活用してまとめたり説明することができる。 d:原始から近世の日本の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・授業ノート ・定期テスト
		近代日本の形成と19世紀の世界	幕藩体制の動揺 明治維新 立憲国家の成立 近代産業の発展と国民生活	○	○	○	○	a:幕末から明治時代の近代日本の歩みについて関心を持ち、理解しようとしている。 b:幕末から明治時代の近代日本のあゆみについて多面的・多角的に考察し、その特質について公正に判断している。 c:幕末から明治時代の近代日本のあゆみについて史・資料を活用してまとめたり説明することができる。 d:幕末から明治時代の近代日本の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	
2	近代・現代	近代日本のあゆみと国際関係	第1次世界大戦と政党政治の発展と軍国主義の形成と	○	○	○	○	a:第1次世界大戦から第2次世界大戦に至るわが国の歴史について関心を持ち、理解しようとしている。b:第1次世界大戦から第2次世界大戦に至るわが国の歴史について多面的・多角的に考察し、その特質について公正に判断している。c:第1次世界大戦から第2次世界大戦に至るわが国の歴史について史・資料を活用してまとめたり説明することができる。d:第1次世界大戦から第2次世界大戦に至るわが国の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・授業ノート ・定期テスト
			戦後日本の国家再国際社会の動向と高度	○	○	○	○	a:戦後から今日に至る日本の歴史について関心を持ち、理解しようとしている。b:戦後から今日に至る日本の歴史について多面的・多角的に考察し、その特質について公正に判断している。c:戦後から今日に至る日本の歴史について、史・資料を活用してまとめたり説明したりすることができる。d:戦後から今日に至るわが国の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	
3	近代・現代	第二次世界大戦後の日本と世界	戦後日本の国家再国際社会の動向と高度	○	○	○	○	a:戦後から今日に至る日本の歴史について関心を持ち、理解しようとしている。b:戦後から今日に至る日本の歴史について多面的・多角的に考察し、その特質について公正に判断している。c:戦後から今日に至る日本の歴史について、史・資料を活用してまとめたり説明したりすることができる。d:戦後から今日に至るわが国の歴史について理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・授業ノート ・定期テスト

平成27 (2015) 年度 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史B	学年	3年	教科書	清水書院「高等学校日本史B 新訂版」
		単位数	4単位	副教材	浜島書店「新詳日本史」

学習目標 我が国の歴史の展開を、最新の学問成果や世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

学習方法 ○毎時間の授業では、はじめに学習のめあてを示しますので、それを手がかりに教科書や図説を参考にして、積極的に学習しましょう。
○要点は板書しますので、ノートをとりましょう。ノートは定期的に提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての必要な態度が身につけている。
b	思考・判断	歴史的事象から課題を見だし、日本の形成の歴史過程と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化を踏まえ公正に判断している。	
c	資料活用の技能・表現	諸史料・資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	
d	知識・理解	日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を確実なものにしている。	

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	原始・古代・中世	原始・古代・中世の政治・社会・文化と東アジア	原始・古代から中世の概説	○	○	○	○	a: 原始から戦国時代について関心があり、学ぶ意欲がある。 b: 原始から戦国時代の特徴を多様な角度から考察している。 c: 史料・資料を活用して学習している。 d: 原始から戦国時代の特徴について理解している。	・観察 ・提出物 ・確認テスト
	近世	近世の政治・社会・文化と国際関係	統一政権の成立 幕藩体制の展開・動揺	○	○	○	○	a: 統一政権から幕藩体制の展開・動揺について関心があり、学ぶ意欲がある。 b: 統一政権から幕藩体制の展開・動揺について、その特徴を多様な角度から考察している。 c: 史料・資料を活用して学習している。 d: 統一政権から幕藩体制の展開・動揺について、その推移を理解している。	
2	近代	近代日本の形成と国際関係	大日本帝国の誕生	○	○	○	○	a: 開国から第二次世界大戦の時代の日本と国際関係について関心があり、学ぶ意欲がある。 b: 開国から第二次世界大戦の時代の日本と国際関係について多様な角度から考察している。 c: 史料・資料を活用して学習している。 d: 開国から第二次世界大戦の時代の日本と国際関係について、その推移を理解している。	・観察 ・提出物 ・確認テスト
		両世界大戦期の日本と世界	大日本帝国の展開(いのちの尊重に関する教育)	○	○	○	○		

(参考様式)

3	現代	第二次世界大戦後の日本と世界	日本の独立回復と現代の世界	○	○	○	○	a: 第二次世界大戦後の日本と国際関係について 関心があり、学ぶ意欲がある。 b: 第二次世界大戦後の日本と国際関係について 多様な角度から考察している。 c: 史料・資料を活用して学習している。 d: 第二次世界大戦後の日本と国際関係について、 その推移を理解している。	・観察 ・提出物 ・確認テスト
---	----	----------------	---------------	---	---	---	---	--	-----------------------

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・応用日本史 (学校設定科目)	学年	3年	教科書	清水書院「高等学校日本史B 最新版」 浜島書店「新詳日本史」 浜島書店「要点整理ゼミナール日本史」 自主作成教材
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	原始・古代・中世の学習を中心に、授業を展開します。様々な史料・資料を活用することにより、歴史の流れをつかみ、歴史的なものの見方や考え方、さらに歴史事象について公正に判断する思考力を身につけることを目標とします。	
学習方法	○ 授業における課題に対して自ら考え、発表する活動を行います。 ○ 授業においては、自主作成教材を使用し、定期的にノートや課題を提出してもらいます。 ○ できるだけ視聴覚教材を使用し、また、良い企画があったら博物館等を参観し、それについてのレポートを提出してもらいます。	
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a 関心・意欲・態度	各項目に対する関心と問題意識を見る。
	b 思考・判断	各時代の特色を多角的・構造的に捉えているかを見る。
	c 資料活用の技能・表現	文書史料、写真資料等の内容を把握しているかを見る。
	d 知識・理解	各項目の具体的な理解と、その内容について世界史的視野から総合的に捉えているかどうかを見る。

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	原始・古代	日本文化のあけぼの	旧石器時代 縄文時代 弥生時代	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 更新世から縄文文化・弥生文化に至る原始社会について理解している。 墳時代にヤマト政権による統一が進み、大陸文化の摂取も進んだことを理解している。 推古朝以降律令国家おの建設が進んだこと、及び、律令体制の仕組みと実態を理解している。 律令体制の仕組みと実態を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古 ノート 課題提出 定期テスト 観察
		古代国家の形成とアジア	ヤマト政権と古墳文化 推古朝の政治と飛鳥文化	○	○	○	○		
		古代国家の成立と都	律令国家の成立期の政治と文化 律令体制とその実体	○	○	○	○		
		古代国家の成立と都	律令体制とその実体	○	○	○	○		
2	古代・中世	古代国家の推移と社会	平安初期の政治と文化 貴族社会と摂関政治 国風文化	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 摂関政治の成立と展開、及び国風文化について理解している。 武士の台頭と、平氏政権の性格について理解している。 鎌倉幕府の成立と、封建制度の仕組みについて理解している。 承久の乱を機に、武家一元支配が成立したことを理解している。 鎌倉文化の特色について理解している。 が、鎌倉幕府の崩壊の重要な原因となったことを理解している。 建武の新政から室町幕府の成立、南北朝の内乱に至る政治の流れを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 元寇 ノート 課題提出 定期テスト 観察
		古代から中世社会へ 武家政権の成立と鎌倉文化	荘園と武士団の成長 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立	○	○	○	○		
		武家政権の成立と鎌倉文化 室町幕府と北山文化	執権政治の展開 鎌倉文化 元寇と御家人社会の変質	○	○	○	○		
		室町幕府と北山文化	室町幕府の成立	○	○	○	○		
3	中世	下剋上の社会と庶民	北山文化 下剋上の社会と戦国大名	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 室町文化の特色を理解している。 民衆の台頭と、戦国大名の出現の過程を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 課題提出 定期テスト 観察

平成27年度(2015年度) 年間指導計画

教科・科目	社会 ・発展世界史	学年	3年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	東京書籍「新選世界史B」 帝国書院「明解世界史図説 エスカリエ 五訂版」

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史と関連付けながら理解させ、歴史の発展法則と現代世界の特徴を広い視野から論理的に考察させることによって、国家及び社会の形成者として、また主体的に生きる地球市民たり得る、社会的思考力と健全な批判力を育む。
------	--

学習方法	○教科書と資料集、授業プリント(内容、資料、自習論述問題)を用いて学習を進めます。 ○授業プリントを自分手作りの参考書に仕上げましょう。自習論述問題解答の上、提出してもらいます。
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	歴史的事象に関心をもつとともに、過去の出来事がいかに現在の出来事と関連している追究する。		
	b	思考・判断	歴史的事象を因果関係から論理的に考察し、現代の諸課題を過去との関係においてとらえ、的確に判断する力を身に付けている。		
	c	資料活用の技能・表現	出来事の詳細において、資料を活用しながら事象を歴史的かつ多角的な視点からとらえる技能を身に付けている。		
	d	知識・理解	歴史的事象を的確にとらえるための知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	西・南・東アジア概史と19世紀のヨーロッパ	前近代の西・南・東アジア概史	イスラム世界の形成と変容	○	○	○	○	a. 諸地域世界に対する関心を持ち、各世界の形成過程について論理的に把握している。 b. 諸地域世界の歴史について多面的・多角的に考察し、各世界の特質を公正に判断している。 c. 諸地域世界に関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 諸地域世界の形成過程を理解し、その知識を身につけている。	・授業プリント ・観察 ・定期試験
			インド文明の形成とイスラム化	○	○	○	○		
			前近代中国の土地制度史と征服王朝	○	○	○	○		
			ヨーロッパの宗教改革と絶対王政	○	○	○	○		
2	近代から現代へ	帝国主義と民族運動・社会主義革命	ヨーロッパの市民革命とアジア進出	○	○	○	○	a. 帝国主義とそれへの抵抗としての民族運動・社会主義を理解し、その知識を把握している。 b. 近代から現代への移行について多面的・多角的に考察し、諸地域世界間の侵略と抵抗を公正に判断している。 c. 近代・現代に関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 近代・現代の侵略と抵抗を理解し、その知識を身につけている。	・授業プリント ・観察 ・定期試験 ・小論文
			帝国主義の世界再分割と第一次世界大戦	○	○	○	○		
			ロシア革命と戦間期の民族運動	○	○	○	○		
3	現代世界の始まり	地球世界の形成	大恐慌・国際ファシズム	○	○	○	○	a. 一体化する世界とそれへの抵抗を理解し、その知識を把握している。 b. 一体化する世界について多面的・多角的に考察し、諸地域世界間の支配と抵抗を公正に判断している。 c. 一体化する世界に関する資料を活用して、追究し考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 d. 一体化する世界を理解し、その知識を身につけている。	・授業プリント ・観察 ・定期試験 ・小論文
			第二次世界大戦とア民族運動	○	○	○	○		
			戦後の世界へ 東西冷戦と多極化	○	○	○	○		
			冷戦後の世界とグローバル化	○	○	○	○		